

第3回 村上市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 開催日時：平成30年2月16日（金） 午前9時30分から午前10時10分

2. 開催場所：村上市生涯学習推進センター 2階 大・中会議室

3. 出席者：（※敬称略）

【出席委員】古田委員、小田(修)委員（藤観光タクシー（株）川内壽雄代理出席）、渡邊委員（青野地域調査係長代理出席）、松平委員（渡邊副所長代理出席）、高橋(治)委員（佐藤計画専門員代理出席）、中村委員（五十嵐課長補佐代理出席）、志田委員、片野委員、会田委員、大嶋委員、河面委員、石田委員、嵐委員、鈴木(涉)委員、川崎委員、高橋(智)委員（波多野葵代理出席）、桑原委員、山形委員、佐野委員、大滝委員、山田委員、小田(正)委員

【欠席委員】石塚委員、高橋(博)委員、鈴木(克)委員、小松委員、板垣委員、木村委員

【委員以外】株式会社瀬波タクシー、株式会社はまなす観光タクシー、新潟交通観光バス株式会社村上営業所（オブザーバー）

【事務局】川崎、前川、細野、小野寺（村上市）

4. 傍聴者：1人

5. 会議次第

1 開会

2 挨拶（会長）

3 議事

〔報告事項〕

(1) 事業実施状況について

〔協議事項〕

議題1 平成30年度 事業計画(案)について

議題2 平成30年度 予算(案)について

4 その他

5 閉会（副会長）

6. 会議資料

【配付資料】◇議事次第 ◇出席者名簿 ◇配席図

【議事資料】

資料1. 事業実施状況について

(別紙) 村上市公共交通実証運行利用状況等および村上市公共交通実証運行利用者実績

議題1. 平成30年度 事業計画(案)について

議題2. 平成30年度 予算(案)について

7. 会議経過

議事次第

1 開 会

○川崎事務局長：皆様、おはようございます。定刻になりましたので、ただいまより平成29年度第3回村上市地域公共交通活性化議会を開催いたします。私、自治振興課長の川崎と申します。どうぞよろしく願いいたします。
それでは、議事次第に沿って進めさせていただきます。最初に、本協議会の高橋会長がご挨拶申し上げます。

2 挨拶（会長）

○高橋会長：皆さん、おはようございます。日ごろは本市の公共交通、この分野におきまして関係各機関の皆様方には多大なるご支援、またご協力、さらにはご指導いただいておりますことに感謝を申し上げたいと思います。本日は、第3回ということで開催をさせていただきました。この公共交通をしっかりと維持、継続していくために、しっかりとした議論、また我々が考えておりますところを具体的にこの地域に提案をしていくということは非常に重要なポイントだと思っております。今回の降雪が市民の生活、また地域の皆さんの生活にダメージを与えているというような状況になりました。この中で皆様方も走ってみておわかりのとおり車道と歩道がもう一つになっている状況もあるわけでありまして、これ1つとりましても我々の地域を取り巻く環境、こういうところをしっかりと維持していくことの大切さ、また痛感をしたわけがあります。そうした意味において、1,174平方キロという広大な面積を有する我が市域でありますけれども、その中における交通機関、これをしっかりと維持していくことが本当に大切だと改めて感じた次第であります。こういった意味におきましても、これからどういった仕掛け、どういった仕組み、それが必要なのかということらを率直に議論していく、こういうことを続けていかなければならないと感じておりますので、皆様方からも率直なまたご意見をいただければありがたいと思っております。本日は30年度の事業に向けてのご提案を予定しておりますので、何とぞよろしく願いをいたしたいと思っております。

また、もう一つ、全く別でありますけれども、今回の平昌の冬季オリンピック大会で我が村上市出身の平野歩夢選手が2大会連続銀メダルという快挙をなし遂げました。これもまた喜びの一つでありますので、そんな喜びを力に変えながら、しっかりとこの公共交通を維持していく、こういう取り組みを進めていきたいと思っておりますので、何とぞよろしく願いをいたします。
ありがとうございました。

○前川課長補佐：ありがとうございました。本日の進行を務めさせていただきます事務局の前川と申します。よろしく願いいたします。座ったままで失礼いたします。それでは、お手元にお配りした資料の確認をさせていただきます。皆様のお席に議事次第、出席者名簿、配席表、高速のりあいタクシーのチラシ、資料その他が用意されていると思っておりますが、資料の不足はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。なお、会議資料につきましては事前に委員の皆様へ送付しておりますので、そちらをご覧ください。

3 議 事

○前川課長補佐：次に、本日の出席状況でございますが、協議会規約第11条第2項により、本協議会は委員の過半数が出席しなければ開催できないことになっておりますが、協議会委員29名のうち半数以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しておりますことをご報告いたします。本日の出席者につきましては、時間の都合上お手元にお配りしてあります出席者名簿によりましてご紹介にかえさせていただきます。あらかじめご了承ください。なお、名簿の9番、新潟交通労働組合観光バス部会阿賀北支部の委員交代がございまして、志田分会長が新たに委員とされました。委嘱状につきましては、失礼ではございますが、お席に置かせていただきましたので、ご確認願います。また、本日は公共交通事業者様にもオブザーバーとしてご出席いただいております。

それでは、議事に入りますが、協議会規約により会長が協議会の議長を務めることとなっておりますので、これより会長による議事の進行をお願いいたします。

〔報告事項〕

(1) 事業実施状況について（資料1）

○高橋会長：それでは、暫時議長を務めさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

まず、議事の報告事項1点、事業実施状況について、資料1で事務局からご報告を申し上げさせていただきます。

○事務局：――資料1に基づき詳細に説明――

○高橋会長：それでは、1点目、事業実施状況につきましてご報告を申し上げます。皆様からご発言ありましたらいただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。

さくら号について、今ほど事業実施状況でご報告を申し上げますとおり、ある程度ニーズに限定した形で設置をさせていただきました。これは地元の皆様方からの要望を受けて、それで地元の意向を確認した上で路線として設定したわけではありますが、結果として利用者が1名だったということになっているわけでありまして。これは、後ほどまた改めてご提案申し上げますけれども、やはりこのニーズの把握、地元の皆さん方が設置をして、それを有効に活用していただくという前提、ここの見きわめが非常に重要だということを今回感じさせていただいたわけでありまして、どの路線におきましてもこういう実態というのはあるのだろうと思っております。これを捉えて、結果として1人だったから、これを廃止にしても仕方がないよねという議論、なかなかこれ難しいとは思っておりますけれども、その辺のところ率直なご意見、いただければと思っております。

報告事項の実施状況につきましてはよろしゅうございますか。

（異議なしの声あり）

○高橋会長：ありがとうございました。

〔協議事項〕

議題1 平成30年度 事業計画（案）について

○高橋会長：それでは、続きまして協議事項に移らせていただきたいと思います。

議題の1の平成30年度事業計画の(案)について、まず事務局のほうから内容について説明を申し上げさせていただきます。

○事務局：――議題1に基づき詳細に説明――

○高橋会長：それでは、議題1につきまして協議を進めていきたいと思います。

○佐野副会長：ご説明にあったのですが、少し気になったのは山北地区のりあいタクシーはちょっと利用者が少ないので、2便に減便とあって、山辺里地区のさくら号はかなり少ないんだけど、現況継続という話でこれからいろいろ議論するという事なんで、それはそれで議論を進めていただければと思います。あと、収支率と1便当たりの利用者でちょっと気になったのが路線バスで、1便当たりが0.3とか収支率が1%台というのが2路線ぐらいあるんですが、このバスというのはどのぐらいの大きさで走っているのですか。

○事務局：古いタイプのバスなのですが、大型のバスで運行しております。

○佐野副会長：何とかこの辺を少し効率化するという話はないのでしょうか。

○事務局：小さいバスで経済的に運行できればいいのでしょうかけれども、なかなかバスを購入することができない状況です。

○佐野副会長：普通の車でいいじゃないかと思うのですが。

○事務局：ちょっとその辺を検討してみたいと思います。

○高橋会長：そのことにつきましては、バス運行事業者さんとの関係もあるのですか、古田さん。実は市のほうでも例えば小型化、またCO₂の削減に資するための車両を検討させていただいておまして、まちなか循環バスにつきましては市のほうで購入していくということで考えてはいるのですが、これがまたなかなか調達に時間がかかっているような状況です。昨年から中古車市場も実は探させていただきました。やっぱり少しでも、同じ路線走らせているときにコストを下げるためのニーズがあるわけでありますから、少ない人数をサポートしていくときに全体の路線に係る経費としてそれを縮小させていくためには当然物理的にかかっている部分のコストを下げるため車両を小さくする。運行ルートを考えながら距離を短縮したりとか、そういうようなことを方策としては必要なだろうと。その1つとして小型化された車両を探して、それが導入できるのであれば物理的なコストも下がるんじゃないかということで検討したのですが、なかなか中古車市場におきましてもそれを調達することが非常に困難だと。営業用の路線バス等で動いているものは最後の最後まで走っていますよね。ずっと壊れるまでみたいな形になるので、いろいろ手だてを講じているのでありますが、なかなか妙案に至っていないというのが現状だと思っております。

ほかに、ただいまの件につきましてもいかがでしょうか。さくら号につきましては、率直に地元を含めてちょっと協議をさせてもらいたいと思っておりますので、また改めてご提案申し上げたいと思っております。ただ、個人的な感覚としては学校に通学するという事は月曜日から金曜日までになるわけなんで、なかなかそのところがしっかりとサポートしていかないとだめなのかという感じはするのですが、それとかけるコストのピー・バイ・シーのバランスが非常に悩ましい部分ではありますけれども、当事者を中心にしてしっかりと議論させていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくをお願いします。

いかがでございましょう。30年度この形でまずスタートさせていただいてよろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○高橋会長：ありがとうございました。それでは、30年度事業の計画につきましてはこれをベースにしてスタートさせていただきたいと思っております。

議題2 平成30年度 予算(案)について

○高橋会長：それでは、議題の2点目でありますけども、30年度、これにかかります予算、ご提案を申し上げたいと思います。

○事務局：――議題2に基づき詳細に説明――

○高橋会長：それでは、30年度の予算につきましてご提案申し上げました。皆様方からご発言いただきたいと思います。いかがでございましょうか。

高速のりあいタクシーにつきましては県の補助金もあり、都市間交通をしっかりと県土ベースでサポートするのだということで新たに創設をしていただいた部分でございますので、よろしく申し上げます。

皆様方からご発言ございませんでしょうか。荒川の区長会長さん。

○会田委員：質問ではなく要望なのですが、30年度予算(案)について、できれば前年度との比較があればわかりやすいと思うんですが、何か理由があるのでしょうか。

○高橋会長：いや、特にないと思いますので、そのようにさせていただきたいと思います。ほかにご発言ございませんでしょうか。それでは、平成30年度の予算、この形で進めさせていただきたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○高橋会長：ありがとうございました。それでは、この形で進めさせていただきたいと思っております。

4 その他

○高橋会長：それでは、続きまして議事の4点目、その他でご提案を申し上げたいと思っております。

○事務局：その他につきましては、2点ご報告ございます。

まず、1点目につきましては資料のその他と書いたカラー版の資料をごらん願います。次年度検討しております新規事業につきまして、岩船町駅から岩船エリアを結ぶ乗り合いタクシー事業を検討しております。このことにつきましては、岩船地区には新潟リハビリテーション大学と新潟看護医療専門学校村上校の2校があるわけですが、こちらの学生さんの多くはアパートで生活しておりまして、週末になると実家に帰省されるということです。実は昨年、市と学校との連携協議会の中で日曜日の夜に実家からアパートに戻る途中、痴漢被害に遭いそうになった学生さんがいたという報告を受けました。学校側のほうから防犯対策の観点から駅からアパートまでの公共交通を検討してほしいというお話がありましたので、新年度に入りましたら地元のタクシー会社さんと週末の夜間に利用できるような予約型の乗り合いタクシー事業について協議することとしております。

その他の2点目としまして、資料、その他2をご覧願います。こちらのほうは昨年開催の第2回の本協議会の中で国の補助金を活用して実施しております事業につきまして、評価の報告のほうをさせていただいたわけなのですけ

れども、1日当たりの利用人数の目標が達成できなかった村上～馬下經由寒川線のバスの事業につきまして、目標が達成できなかった要因としまして人口の減少を挙げさせてもらったところなのですが、人口の減少というのは全ての事業共通のものなので、もう少し分析した上で今後の改善点を考えたかどうかというようなご意見がありました。この点を踏まえまして資料の村上寒川線の目標が達成できなかった要因につきましてもう少し具体的に調べましたところ、この沿線地区の人口減少が村上市の中でも特に著しかったということを追記させていただきました。また、今後の改善点といたしましては学生、沿線住民へのPRのほか、あわせて免許返納者等に対する公共交通の利用促進の取り組みについても考えていきたいと思っております。

その他について2点、以上となります。

○高橋会長：それでは、ただいまその他で2項目につきましてご発言ありましたらいただきたいと思いますが、いかがでございますでしょうか。はい、どうぞ。

○高橋委員（代理）：国交省の北陸信越運輸局です。代理で参っております波多野と申します。1点ほどございまして、こちらの地域公共交通確保維持改善事業の事業評価についてはうちのほうからお願いさせていただいていた事項になるのですけれども、こちらいろいろ事務局さんともやりとりさせていただいて、結果的にいろいろ直していただいて、また新たな改善点いろいろ出てきましたので、こういったところなんですけれども、今回議論されていまして平成30年度の事業計画（案）のほうにもこういったところ可能でしたら盛り込んでいただいて、例えば障害者の方に配慮した車内の表示機器といった、いろいろいい取り組みがこちらの改善点のほうに書いてありますので、そちらも反映いただけたらと思いました。以上です。

○事務局：わかりました。考えさせていただきます。

○高橋会長：大変ありがとうございます。しっかりと記述もさせていただきたいと思えます。

ほかにございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

（異議なしの声あり）

○高橋会長：先ほどの高速のりあいタクシーもそうなのでありますけれども、実は昨年暮れに県下30市町村で構成をしております市長会と町村会で連携をしまして、新潟県さんとしっかりと新潟県の拠点化、地域活性化、これを進める会議というものを設置させていただきました。その中で3部会あるのですけれども、私、村上市長が交通部会の部会長ということで就任をさせていただいております。最近の報道等でも十日町さんから県都までの高速バスが廃止されると聞いておるわけでありまして、こういった形で非常に人口減少と相まって、喫緊の課題と言われ続けて久しいわけでありまして。より具体的に提案をしていかなければならない中できょうお示しをさせていただいたような実績にならざるを得ない路線、またエリアもあり、そこにしっかりと目を向けて、維持できるような仕組みが必要だと思っております。また、いろいろご意見もあろうかと思っておりますので、お寄せをいただければありがたいと思えます。

それと、限られた財源を投入するわけでありまして、利用のあり方とコスト削減の部分について、ニーズに合った場所を少しコンパクトにすることも公共交通の新たなあり方となるのかと思えます。

それと、またそこに載せる公共交通のあり方、これが今のような形のみならず、地域と連携した形が検討できるのかどうか、いろいろな仕組みが今あるわけですが、事業者さんとの関係もありますから、今比較的いろんなところで先進的な取り組みとして行われておりますライドシェアとかの仕組みというのはなかなか難しいと思います。難しいのだけでも、やっぱりきちんと議論して、そのあり方、これは事業者の経済活動とともに共存できるような仕組みも考えていかなければならない、そういう時代にも来ているのかとも思っております。また、この協議会を通じていろいろとご意見をいただければありがたいと思っております。

それでは、議長としての役割は以上とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

○前川課長補佐：委員の皆様、ご審議ありがとうございました。最後に、閉会の挨拶を副会長よりお願いいたします。

5 閉会（副会長）

○佐野副会長：長岡技術科学大学の佐野でございます。きょうは朝からお集まりいただき、活発な議論をしていただき、どうもありがとうございました。今回の議論というわけではないのですが、常々少し感じていること、なかなか難しいことなののですが、少し述べさせてもらえればと思います。公共交通活性化と言いつつ、ほとんどバスの話になっていきますが、鉄道もありますし、少量輸送ではタクシーもありますし、その辺のことも少し含めて議論ができればと思います。例えばの話なのですが、三条市で「ひめさゆり」というのを運行してまして、相乗りタクシーなのですが、相乗り余りないので、600ぐらいの停留所が市内にあり停留所から停留所まで割と安い料金で運んでいただけると。それは非常に人気で、その分市の持ち出しが非常に多くなって結構大変だという話で、値上げをして、少し市の負担を減らすということもやったのですが、そういうことも必要ですが、1人で乗っている方が多いので、乗り合いをしてもらうとどれぐらいコストが下がるかみたいな試算したんですが、ある1カ月間のデータでやったところ乗るところとおりところが1キロ以内で、かつ出発時刻の希望時刻が1時間差という条件で乗り合いをしてもらうというふうにやりますとその経費が3割ぐらい減るということで、村上市と比べるとやっぱり三条市のほうが人口が多いので、乗り合いも可能かとは思いますが、そういった事例もあるので、タクシーがやっぱり少し高いと乗れない人もいますので、もし乗り合いでタクシーの運賃が少し下がれば新たな需要も出てくると思いますので、そういったことも少しご検討いただくと足の不自由というか、交通弱者の方が少し外に出歩きやすくなるのかと思っております。

それでは、以上で閉会の挨拶にさせていただきます。

○川崎事務局長：慎重審議、皆様大変ありがとうございました。以上をもちまして、今年度の地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

（午前10：10終了）